

# 『さっきゃま魂』

R3. 11. 17 第15号

発行人：校長 中山 未永

## 楽しく学ぶ 4年生

11日(木) 今年度最後となる4年生の校外学習がありました。週間天気予報では、ずっと雨マークがついていて、当日の天気だけが心配でした。予報通り、曇ったり雨が降ったりの日でしたが、施設内の見学のと看だけ雨が降っている状況で、当初の計画通りの学習を進めることができました。

見学地は、浄水場・クリーンセンター・リサイクルセンターでしたが、挨拶・聞き方・メモの取り方など、他学年同様とてもよく頑張っていました。また、説明の途中にも疑問に思うことがあれば、積極的に質問をしていました。その場で質問ができるということは、話をしっかり聞いているという証拠です。子ども達の姿から、これまでの学習の積み重ねがしっかりできていることが分かりました。



4年生の活動を見ながら強く感じたことは、「仲良し」だということです。5名での活動でしたが、活動中や昼食中の楽しそうな会話から、友達を大切に思う気持ちを感じ取ることができました。また、タクシーを待つ間に、「しりとり」や「だるまさんが転んだ」をするなど、みんなが楽しめるために、どうしたらいいかを考え行動することができました。さっきゃま魂「友愛」の心が大きく育っていることを実感でき、とても嬉しく思いました。

子ども達は、校外での活動を通して、たくさんの方々に関わり、教室では学ぶことができない多くのことを学ぶことができました。この経験を、今後の学習・生活にしっかりと結び付け、更なる成長を目指していきます。

## 久賀小との交流を通して・・・

12日(金) 久賀小学校の児童4名と交流学習を行いました。久賀小学校には、地元の子どもは一人もいません。4人とも「しま留学制度」を活用して、親元を離れ、県外から来た子どもです。



今回は、2校時から4校時までの短い交流の時間でしたが、音楽・体育・外国語活動など、少人数では経験できない活動と一緒に楽しむ機会となりました。本校の子ども達にとっては、一緒に学ぶ仲間が少し増えただけで普段とあまり変わらないと感じるかもしれませんが、久賀小学校の子ども達の言動から気づかされることもたくさんありました。例えば、活動後に感想を伝える場面では、自分の思いを具体的に丁寧に伝える久賀小の子どもがいたそうです。それを聞いた本校の子ども達は、その子の話に釘付けになっていたというのです。きっと、いつもとは違う・自分たちとは違う言動に触れることで、新たな発見があり良い刺激を受けたと思います。もちろん、久賀小の子どもたちも、本校の子ども達から多くのことを学んだことでしょう。



短い交流でしたが、笑顔で「ばいば〜い」と見送る子ども達を見ながら、改めて、このような交流の機会をたくさん作ることが大切だと感じました。